

日本は、世界も認める森林大国である。  
都会にいても車で少し走れば、緑の森にたどり着く。  
そんな日本の森の4割は人工林。  
戦後に植えた木の多くが、伐採期を迎えていると言う。  
そして再び植林をする必要がある。  
日本の国土は、今まさに、若返るタイミングなのだ。  
若い木は、多くの二酸化炭素を吸う。  
伐採した木は、木材となって炭素を長く固定する。  
きって植えることは、脱炭素につながり、  
森の新たなスタートになるのだ。  
人工林にも自然があふれている。  
シダが生い茂り、虫や鳥の声が響き合う。  
みんなが生きている森、  
私たちに脱炭素の力を貸してくれる森を持続させよう。  
森林大国の誇りって、未来に自慢できるよね。

木をきめることで、  
どんなイメージが  
するだろう。

# Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

木と生きる幸福

住友林業